

シンポジウム

『医療で目指す一番住みたい県 岡山』実現が見えてきた！

日時：2月29日（月） 15:00～18:00

場所：ANA クラウンプラザホテル岡山

主催：一般社団法人岡山経済同友会

岡山県商工会議所連合会

開会 岡山経済同友会 地域振興委員会 梶谷俊介 委員長（司会）

ごあいさつ 岡山経済同友会 萩原 邦章 代表幹事

第1部 講演会

(1) 「質の高い医療を効率良く提供する体制づくりに向けて」

講師：岡山県保健福祉部医療推進課 課長 則安俊昭 様

(2) 「岡山市における地域包括ケアシステム構築に向けた医療・介護の基盤づくり」

講師：岡山市保健福祉局 審議監 福井貴弘 様

(3) 「大規模地域包括ケア事業体（IHN）のあり方」

講師：キャノングローバル戦略研究所 研究主幹 松山幸弘 様

(4) 「地域医療連携推進法人制度について」

講師：厚生労働省医政局医療経営支援課 課長補佐 水野忠幸 様

(休 憩)

第2部 具体的な取り組み事例の紹介

(1) 事例紹介1 「真庭市における病院同士の機能分担」

講師：社会医療法人緑社会 金田病院 理事長 金田道弘 様

(2) 事例紹介2 「OUMC 構想の進捗状況について」

講師：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授

岡山大学病院 副病院長 那須保友 様

(3) 質疑

(4) 講師コメント

終わりのごあいさつ 岡山県商工会議所連合会 岡崎 彬 会長

以 上

地域医療の理解深める

岡山経済同友会と 県会議所連合会 シンポに180人

統合医療ネットワーク(IHN)構想をテーマにしたシンポジウム(岡山経済同友会、岡山県商工会議所連合会主催)が29日、岡山市内で開かれ、地域医療の在り方や施設間連携の意義について意見交換した。



IHN構想をテーマに開かれたシンポジウム

シンポでは6人が講演。水野忠幸厚生労働省医療経営支援課長補佐は、昨年9月成立の改正医療法が施行されれば、異なる病院や介

護施設が「地域医療連携推進法人」を設立できると説明。「医療機関が競争よりも協調することで地域医療の質の向上につながる」と

松山幸弘キャノングローバル戦略研究所研究主幹は、診療報酬が将来マイナス改定される見通しを示し、医療法人の倒産が増える可能性を指摘。社会のセーフティネットとしてもIHNの必要性を訴えた上で「実現には各施設の経営者が信頼関係を築くことが重要」と話した。

このほか、金田病院(真庭市)が近接の病院と取り組んでいる診療科目の役割分担や医療機器の共同利用といった事例の紹介、岡山大が他の医療機関と設立を目指す「岡山大学メディカルセンター」構想の説明があった。医療機関や企業、行政関係者ら約180人が聴いた。

岡山同友会は2013年に岡山大病院を中核病院とするIHNの提言をまとめており、同様のシンポは2回目。(内田光祐)

岡山経済同友会 地域医療シンポ

岡山経済同友会と岡山県商工会議所連合会は29日、岡山市内で地域医療連携のシンポジウムを開いた。医療関係者や企業関係者が出席。研究者や厚生労働省、自治体などの担当者を講師に招き、地域医療の課題や現在の取り組みを解説した。

具体的な事例として真庭市の病院間での機能分担を取り上げた。医師の共同派遣や患者紹介といった取り組みの実例を解説した。岡山大学を中心とした医療機関の連携「岡山大学メディカルセンター構想」に関しては、現状について説明した。